

# 高温に強い水稲早生新品種「はな結び」

福井県における水稲早生品種は、県内のみならず関西や中京市場にいち早く出荷できる重要な基幹品種です。現在の早生主力品種である「ハナエチゼン」の高温登熟性は“やや強”ですが、収穫翌夏の食味が低下しやすい傾向があります。そこで、高温にさらに強く、翌夏にもおいしい水稲早生新品種「はな結び」を育成しました。

## 1 品種の特徴 (技術内容)

「はな結び」は、出穂期、成熟期がハナエチゼンより1日遅い早生品種です。稈長はハナエチゼンより約7cm短くて倒伏に強く、穂数はハナエチゼンより100本/m<sup>2</sup>程度少ないですが、収量性はハナエチゼン並みです。また、整粒率や玄米外観品質はハナエチゼンより優れています。

第1表 「はな結び」の品種特性

品種名	出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	倒伏 (0-5)	精玄 米重 (kg/a)	千粒 重 (g)	整粒 率 (%)
はな結び	7/16	8/15	77	21.1	463	1.1	64.0	22.5	75
ハナエチゼン	7/15	8/14	84	19.1	571	3.1	64.0	22.0	64

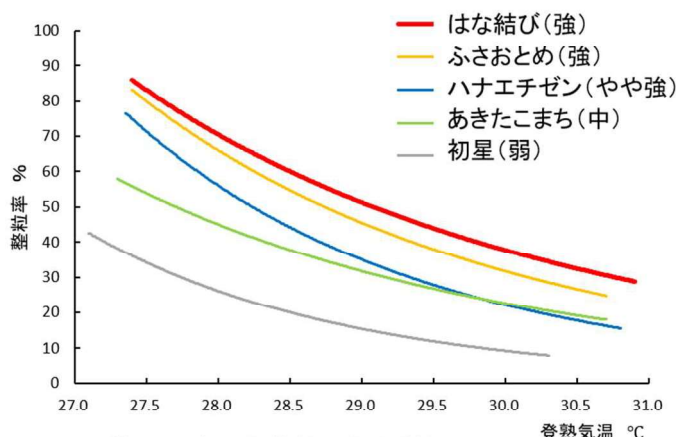
注) 2021~2024年の平均値。移植日は5/2~5/8。



写真1 株標本  
左からハナエチゼン、はな結び

## 2 高温登熟性

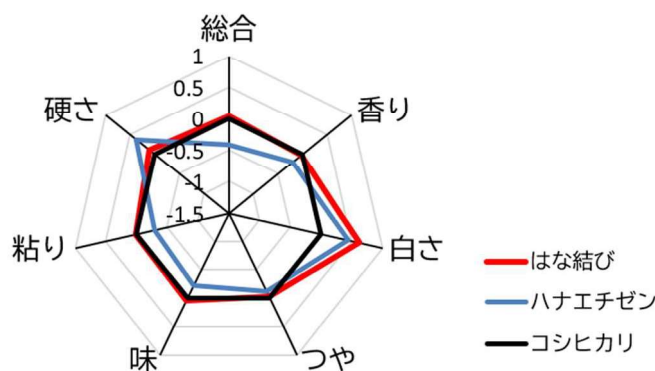
「はな結び」の高温登熟性は、“強”です。



第1図 高温登熟性の評価結果

## 3 食味評価

「はな結び」は、収穫翌年の夏の時期でもコシヒカリ並みの良食味を維持できます。



第2図 翌夏の食味評価

## 【技術の効果およびコスト】

ハナエチゼンに準じた栽培が可能であり、また、高温年にも良質な米が収穫でき、通年で良食味を保てるメリットがあります。